

令和3年度第2回練馬区消防団運営委員会議事要録

1 日時

令和4年3月9日(水)から令和4年3月22日(火)まで

2 会場

書面開催につき、会議資料配布

3 出席者

前川委員長、小林委員、おじま委員、しばさき委員、佐藤委員、西野委員、島田委員、白石委員、福島委員、鳥海委員、五十嵐委員、三浦委員、喜多委員、青柳委員、加藤委員、杉森委員

4 議事内容(概要)

(1) 前回の諮問に対する答申内容等について

※前回の諮問事項

「水災時において消防団員が効果的に活動する方策はいかにあるべきか」

(2) 今回の諮問事項等について

ア 諮問事項

「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」

イ 審議事項

審議事項 1	時間的、環境的な制約の中での活動マニュアルに沿った効果的かつ効果的な実動訓練、部隊運用・指揮判断能力の向上訓練及び署隊との連携活動訓練等の効果的実施に向けた検討
--------	--

審議事項 2	デジタル環境を有効活用した知識や現場判断力など総合的な活動能力の維持や向上方策等についての検討
審議事項 3	消防団活動の更なる理解や周知度の向上に伴う入団促進及び充足率の維持向上方策等についての検討
審議事項 4	配置資機材の種類削減や軽量化など、効果的かつ負担を軽減した装備資機材の整備について検討

(3) 提出された意見等

ア 前回の諮問に対する答申内容等について

答申を踏まえた対応方針の中で、ジェンダーの視点で記載されているのは、「女性専用トイレ等の設置により、女性消防団員が活動しやすい環境整備の推進」のみとなっている。災害時の性被害など防止すること、また女性や若い団員を増やしていくための取組を強化していくため、女性やマイノリティの人たちの意見をどう反映していくのか、またそうした声を対策にどう結び付けていくのかをしっかりと位置付けることが必要ではないか。内閣府の男女共同参画局の「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」も参考にしつつ、ぜひ対策を強化していただきたい。

イ 今回の諮問事項および審議事項について

(ア) 審議事項 2 への意見

デジタル環境の活用という観点で、消防団向けのアプリの導入等のご検討はされていますでしょうか。すでに総務省等もかかわって福島県の自治体で導入されていると聞いておりますが、様々な情報発信、情報収集や団員への教育など多くの機能性を持たせたアプリの導入は今後の消防団活動の推進の一助になるかと考えます。

(イ) 審議事項 3 への意見

消防団員数の不足、とりわけ若い世代の確保については引き続き課題と考えます。募集広報の充実強化ももちろん重要ですが、活動のハードルを下げることが必要ではないでしょうか。負担として（入団を躊躇する理由としても）挙げられることの多い操法大会のあり方を含め、議論していく必要があると思います。

コロナ禍により街頭での入団促進活動が制限される中、ねりま区報1, 2面での広報は大きな効果がありました。紙面の制約があると思いますが、継続していただくと「消防団活動の更なる理解や周知度の向上に伴う入団促進及び充足率の維持向上」に大きな力となります。

(ウ) 審議事項全体への意見

消防団員の増強、平均年齢の上昇。自営業が減り、共働きが増えている。そういう方でも活動ができるよう、負担軽減に積極的に取り組まれない（操法大会、災害時対応）。定年の引き下げを図り、若返りを図る。そうすれば若手獲得にも力を入れることができる。コロナ対策をしながら、必要な訓練や会議は実施する。デジタル化を推進するのであれば、まずはこのような意見聴取においてもデジタル化（Web回答）する。